

## 現状・問題点

- ・高水温化等による藻場減少等により、アワビなど磯根資源が減少
- ・漁獲減少により海女漁業の存続が危機



## 必要性

- ・環境に適した種苗（サザエ）の生産と放流による資源の維持・増大
- ・藻場回復のための海藻（サガラム）の幼体の種苗生産と移植等の取組



## 事業内容

### (1) サザエ種苗生産及びサザエ、アワビ放流技術開発

- ①三重県水産研究所
  - ・サザエの放流技術開発とアワビ放流調査(R6～8年度)
  - ・サザエ放流マニュアル作成とアワビ放流マニュアルの改訂(R8年度)
- ②(公財)三重県水産振興事業団委託予定
  - ・磯焼けに比較的強いサザエの種苗生産技術開発 (R6～8年度)

### (2) サガラム種苗生産技術開発及び移植技術開発

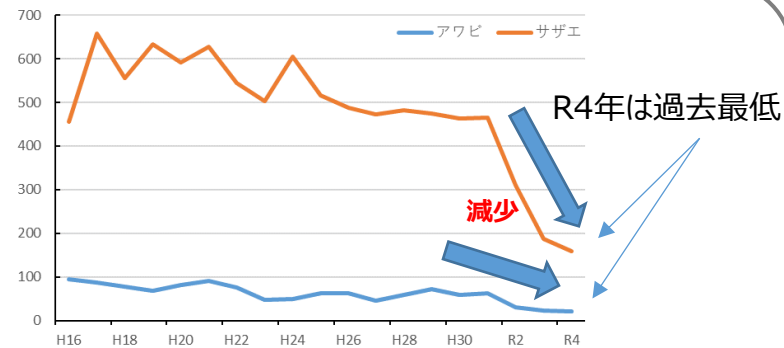
- ①三重県水産研究所
  - ・サガラムの移植技術開発(R7～8年度)
  - ・サガラム移植マニュアル作成 (R8年度)
- ②(公財)三重県水産振興事業団委託予定
  - ・サガラム幼体の種苗生産技術開発 (R6～8年度)
- ③三重大学委託予定
  - ・サガラム地域株の収集と保存及び特性把握試験(R6・7年度)



サザエ稚貝



サガラム



三重県のアワビ、サザエの漁獲量推移

## 事業成果

### サザエ種苗放流の実施体制構築

- ・サザエ種苗生産技術と生産体制を構築
- ・サザエ種苗放流マニュアル
- ・アワビ放流マニュアル改訂

### サガラム幼体移植の実施体制構築

- ・サガラム幼体の生産技術と生産体制を構築
- ・サガラム移植マニュアル

## 海女等漁業者、漁協に指導・普及

- ・これまでのアワビに加えサザエの種苗放流を行うことで、磯根資源が底上げされ、海女の所得向上につながる
- ・サガラムの幼体の移植により、磯根資源の増殖に必要な藻場の再生につながる



## アワビなど磯根資源が増加

## 海女の収入が安定し、海女漁業の存続へ